

平成24年4月12日

原子力委員会 新大綱策定会議  
委員 山名 元 様

三陸の海を放射能から守る岩手の会一同

## 政府の各種審議会委員の辞任を求める要請書

拝啓

日頃、日本のエネルギー政策についてのご検討お疲れさまです。

さて、2月6日付け朝日新聞は貴殿が過去5年間に「日立GE」から180万円、「関西原子力懇談会」から400万円、「東北原子力懇談会」から35万円の計615万円の寄付金を受けていたと報道しています。このことについて貴殿は「原子力を前に進めるための寄付なら受ける、癒着ではない。良い原子力のためには業界との協力は必要だ」とコメントをされたとも報道されています。

業界から寄付金を受けていたことが事実ならば、国民のための公正な判断が求められる審議会委員を務めることは道義的にも無理があります。原子力業界から、たとえ研究室に対してであるにせよ、寄付を受けたならば、業界の意向を汲む判断は避け得ないと危惧するのが一般常識ではないでしょうか。

報道に接して以降、国の審議委員を辞任されるものと貴殿の動向を見守ってまいりました。ところが貴殿は従来通り審議会に参加して意見を言っておられます。このことに驚きを禁じえません。

最高学府において人を教える立場の方には、その専門が理系であるとしても高い倫理性が要求されます。「癒着がない」とおっしゃっておられるようですが、業界はまさに貴殿の「発言権がある立場」に寄付をしているのではないのでしょうか。

福島第1原発事故が起こり1年経過した今、15万人以上もの福島の方たちが避難を余儀なくされておられることについてどうお考えですか。国の審議委員として原子力政策を推進してきた貴殿の責任をどうお考えですか。

原発事故により放出された放射性物質によりこの美しい国は広く汚染されてしまいました。汚染された地でみな苦しみ悩んでいます。

これが貴殿たちが進めてきた「良い原子力」の結果だったのでしょうか。エネルギーよりも人の命や健康が大切なことは論をまたないはずです。貴殿はこの逆の発想をされておられるのではないのでしょうか。

どうか貴殿におかれましては、原発を推進してきた責任を真摯に反省され、かつ脱原発を選択した福島県の人々へ思いをいたし、また貴殿が人々のため学問を志した原点に立ち返り、良心に照らし国の審議委員辞任の決断を要請いたします。

敬具

連絡先 〒020-0004 岩手県盛岡市山岸 6-36-8  
三陸の海を放射能から守る岩手の会  
世話人 永田文夫  
Tel/fax:019-661-1002  
E-mail:hgf01360@nifty.com